

## 18-2 高分子学会講演会

# 高分子開発における MI・AI・計算科学からのアプローチ

主催：高分子学会 行事委員会

日時：2019年2月15日(金)10:20～17:20

場所：東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール

1. OCTAを基盤とする粗視化シミュレーションの産業利用  
(産業技術総合研究所) 青柳 岳司
2. 材料シミュレーションを活用したタイヤ用ゴム材料の開発  
(住友ゴム工業) 内藤 正登
3. 高分子データベースPoLyInfoのデータ収集と機能  
(物質・材料研究機構) 桑島 功
4. 高分子データベース・機械学習を活用した高機能高分子材料の設計および合成  
(統計数理研究所) 吉田 亮
5. 環状高分子鎖濃厚系におけるトポロジーの効果  
(青山学院大学) 坂上 貴洋
6. 反応経路自動探索法の開発と応用：人工力誘起反応法の新展開  
(北海道大学) 原 潤 祐  
【講師変更いたしました】

昨今、注目度が極めて高い「MI・AI・計算科学技術」を駆使した高分子材料開発の現状・課題・将来展望を紹介いただきます。奮ってご参加下さい。

定員 100名

参加費 ①企業10,800円 ②大学・官公庁5,400円 ③学生1,080円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド会員・シニア会員2,160円

※定員に達しましたので当日のご参加申込はお受けできません

詳細・お申込み：<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=41>

